



平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	4,542	67.5	282	30.6	336	58.9	139	53.5
29年5月期第2四半期	2,712	33.3	216	45.3	211	44.0	90	252.3

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 173百万円 (91.7%) 29年5月期第2四半期 90百万円 (131.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	29.25	
29年5月期第2四半期	19.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	10,061	5,189	49.0
29年5月期	10,205	5,001	46.2

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 4,878百万円 29年5月期 4,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		5.00	5.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,592	26.4	561	8.0	610	12.7	356	56.0	74.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	5,055,400 株	29年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	30年5月期2Q	268,842 株	29年5月期	320,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	4,770,890 株	29年5月期2Q	4,735,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速や地政学的リスク等により先行きに対する不透明感は払拭できない状況であります。企業収益や雇用環境等は改善しており、緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,542,870千円(前年同期比67.5%増)、経常利益は336,529千円(前年同期比58.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は139,543千円(前年同期比53.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用実写映画「亜人」、テレビ用アニメーション「ボールルームへようこそ」「魔法陣グルグル」「フューチャーカード バディファイト×(バツ)」「ネット充のススめ」、イベント上映「宇宙戦艦ヤマト2202 愛の戦士たち」、アニメーションPV等を制作いたしました。

クオリティを重視した一部の作品については、交渉により制作費の増加があり受注損失引当金に改善が見られたものの、厳しい状況が続いています。

以上により、当事業の売上高は2,686,169千円(前年同期比142.4%増)、セグメント損失は246,137千円(前年同期は188,435千円のセグメント損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 8巻」「とつづくの少女 4巻」「PEACE MAKER 鐵 13巻」等、定期月刊誌6点並びに新刊コミックス・書籍48点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔法使いの嫁」「リンカーネーションの花弁」シリーズは、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は1,013,506千円(前年同期比13.0%増)、セグメント利益は294,810千円(前年同期比19.2%増)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「魔法使いの嫁 シリーズ」「黒子のバスケ シリーズ」「進撃の巨人 シリーズ」「宇宙戦艦ヤマト シリーズ」「ハイキュー!! シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

I G ポートグループの戦略作品「魔法使いの嫁 シリーズ」については、特に海外販売を中心に好調でありました。

以上により、当事業の売上高は707,886千円(前年同期比40.5%増)、セグメント利益は306,188千円(前年同期比84.1%増)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は135,307千円(前年同期比33.7%減)、セグメント損失は19,742千円(前年同期は45,174千円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ143,682千円減少して10,061,370千円となりました。主な要因はコンテンツ資産が144,503千円、仕掛品が141,060千円増加し、一方、現金及び預金が314,370千円、受取手形及び売掛金が154,823千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ331,059千円減少して4,872,116千円となりました。主な要因は未払金が197,726千円、受注損失引当金が123,340千円増加し、一方、前受金が344,273千円、買掛金が338,415千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ187,377千円増加して5,189,254千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が115,095千円増加し、一方、従業員インセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度の株式給付等により自己株式が89,699千円、非支配株主持分が20,182千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ314,370千円減少し、3,516,155千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、304,317千円(前年同期は411,334千円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が311,932千円、減価償却費が264,871千円、未払金の増加が234,291千円、一方、前受金の減少が344,273千円、仕入債務の減少が338,346千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、550,909千円(前年同期は462,253千円の減少)となりました。これは主に出資金の回収による収入が17,896千円、一方、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が287,343千円、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が271,482千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、67,089千円(前年同期は51,123千円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が36,660千円、配当金の支払額が22,342千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の業績予想につきましては、平成29年7月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,840,639	3,526,268
受取手形及び売掛金	1,372,057	1,217,233
商品及び製品	163,716	157,673
仕掛品	1,811,697	1,952,757
貯蔵品	8,572	8,050
前渡金	130,762	226,956
繰延税金資産	85,243	88,840
その他	395,025	339,303
貸倒引当金	△5,432	△7,059
流動資産合計	7,802,281	7,510,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	529,493	546,426
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	246,516	258,635
その他(純額)	34,734	28,749
有形固定資産合計	1,468,906	1,491,973
無形固定資産		
コンテンツ資産	522,878	667,381
のれん	8,654	—
その他	16,677	18,089
無形固定資産合計	548,209	685,471
投資その他の資産		
投資有価証券	111,996	111,996
その他	313,850	302,095
貸倒引当金	△40,191	△40,191
投資その他の資産合計	385,655	373,900
固定資産合計	2,402,771	2,551,344
資産合計	10,205,053	10,061,370

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,081,575	743,160
1年内返済予定の長期借入金	273,320	273,320
未払金	358,451	556,178
未払法人税等	162,336	145,408
前受金	2,279,483	1,935,209
預り金	300,619	244,509
賞与引当金	3,900	—
役員賞与引当金	33,584	2,499
株式給付引当金	95,004	—
返品調整引当金	45,063	65,153
受注損失引当金	111,870	235,211
その他	210,196	437,760
流動負債合計	4,955,404	4,638,409
固定負債		
長期借入金	120,322	83,661
退職給付に係る負債	51,097	53,535
役員退職慰労引当金	39,398	41,546
その他	36,953	54,964
固定負債合計	247,771	233,707
負債合計	5,203,175	4,872,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,422,970	2,538,065
自己株式	△420,870	△331,170
株主資本合計	4,706,269	4,911,064
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,011	15,775
その他の包括利益累計額合計	13,011	15,775
非支配株主持分	282,596	262,414
純資産合計	5,001,877	5,189,254
負債純資産合計	10,205,053	10,061,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 6 月 1 日 至 平成28年11月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年11月30日)
売上高	2,712,922	4,542,870
売上原価	2,007,435	3,801,055
売上総利益	705,486	741,815
返品調整引当金戻入額	2,800	20,090
差引売上総利益	708,286	761,905
販売費及び一般管理費	492,024	479,519
営業利益	216,261	282,385
営業外収益		
受取利息	264	85
受取賃貸料	18,336	20,080
補助金収入	—	48,977
その他	1,626	3,014
営業外収益合計	20,228	72,157
営業外費用		
支払利息	1,451	1,110
為替差損	10,697	2,044
賃貸収入原価	11,562	11,730
その他	936	3,129
営業外費用合計	24,649	18,013
経常利益	211,840	336,529
特別損失		
減損損失	—	24,596
特別損失合計	—	24,596
税金等調整前四半期純利益	211,840	311,932
法人税、住民税及び事業税	124,640	144,237
法人税等調整額	△2,527	△2,822
法人税等合計	122,112	141,414
四半期純利益	89,727	170,517
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△1,200	30,974
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,927	139,543

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益	89,727	170,517
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	644	2,764
その他の包括利益合計	644	2,764
四半期包括利益	90,372	173,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,572	142,307
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,200	30,974

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 6 月 1 日 至 平成28年11月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 6 月 1 日 至 平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,840	311,932
減価償却費	186,256	264,871
減損損失	—	24,596
長期前払費用償却額	1,680	28
のれん償却額	8,654	8,654
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,299	1,626
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△2,800	20,090
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	8,429	123,340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,900	△3,900
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,709	△31,084
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△696	△95,004
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△547	2,438
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,630	2,147
受取利息及び受取配当金	△264	△85
補助金収入	—	△48,977
為替差損益 (△は益)	10,697	2,044
支払利息	1,451	1,110
売上債権の増減額 (△は増加)	350,307	154,642
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△789,773	△134,495
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,888	△338,346
未払金の増減額 (△は減少)	81,764	234,291
預り金の増減額 (△は減少)	△244,962	△56,003
前受金の増減額 (△は減少)	855,770	△344,273
前受収益の増減額 (△は減少)	601	156,360
前渡金の増減額 (△は増加)	△23,593	△96,193
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△61,642	118,578
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,676	17,893
その他	75,886	113,051
小計	551,354	409,333
利息及び配当金の受取額	264	85
利息の支払額	△1,425	△1,086
補助金の受取額	—	48,977
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△138,860	△152,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,334	304,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△239,975	△271,482
無形固定資産の取得による支出	△149,229	△287,343
出資金の払込による支出	△29,098	△4,393
出資金の回収による収入	23,528	17,896
保険積立金の積立による支出	△2,229	△2,229
差入保証金の差入による支出	△65,386	△3,140
その他	138	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462,253	△550,909

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△19,998	△36,660
配当金の支払額	△22,066	△22,342
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,427	△8,002
その他	△1,631	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,123	△67,089
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,028	△688
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△111,070	△314,370
現金及び現金同等物の期首残高	3,437,768	3,830,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,326,698	3,516,155

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,107,981	897,210	503,707	2,508,899	204,022	2,712,922
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,107,981	897,210	503,707	2,508,899	204,022	2,712,922
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△188,435	247,277	166,353	225,195	45,174	270,370

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	225,195
「その他」の区分の利益	45,174
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△45,455
四半期連結損益計算書の営業利益	216,261

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,686,169	1,013,506	707,886	4,407,562	135,307	4,542,870
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,686,169	1,013,506	707,886	4,407,562	135,307	4,542,870
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△246,137	294,810	306,188	354,861	△19,742	335,119

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	354,861
「その他」の区分の利益	△19,742
のれんの償却額	△8,654
全社費用(注)	△44,079
四半期連結損益計算書の営業利益	282,385

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失24,596千円を計上しております。